

ブックちゃんの

2024年10月1日発行

ふじのみや探検

第44号

ふじのみやこうこうかいぎしょ

富士宮高校会議所のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284



みなさんは、富士宮高校会議所という名前を見たり聞いたりしたことがありますか？新聞や「広報ふじのみや」などで、よく見られるようになったので、知っている人も多いのではないのでしょうか。いま、このメンバーが若い感覚でいろいろなアイデアを出して、富士宮市を元気に

にするように活躍しています。どんな活動をしているかなど、そのひみつをさぐっていきましょう。

ひみつ1 富士宮高校会議所ってなに？

高校生の視点で、富士宮市を元気にし、地域がにぎわうようにするため、イベントを考えたり、新しい商品（たとえば、ひみつ3の「マスマス^{げんび}元肥」など）を開発したりして、持続可能な社会を作り出すこと（※SDGs）をねらいにして、2016年2月にできた高校生の集まりです。本部は、西町の「西町レトロ館」にあり、話しあいなどの活動の中心場所になっています。メンバーは、現在、20人（2024年5月）で市内のいくつかの高校生が集まって構成されています。学校の児童会長や生徒会長にあたるのが「^{かいとう}会頭」です。ちょっと、カッコいいですね。

※SDGsは、「ブックちゃんのふじのみや探検 第42号」で説明しているので、それを見てね。

ひみつ2 どんな活動をしているの？

高校会議所では、みんなでたくさんアイデアを出して、活動をしてきています。ここでは、そのほんの一部を紹介します

その1 富士宮高校会議所プレスの発行

高校会議所の活動の様子を市民のみなさんにお知らせするチラシです。第1号は、2017年11月に発行され、当時のトピックや開発したニジマスをつかったお茶漬^{ちやづ}け、ふりかけなどが紹介されています。また、会頭は、富士宮の活動モデルを全国へ広げたいという意気込みをのせています。この思いは^{けいぞく}継続され、のちの日本高校会議所の^{せつりつ}設立につながります。



その2 SDGs コンテスト 宮フォトコンテスト 宮PV コンテストの実施

世界中で起きている様々な問題に目を向け、課題解決に向けてできることは何か、アイデアを出して持続可能な地域社会をつくることをねらいとしたSDGs コンテストを始めました。また、宮フォトコンテスト、宮PV コンテストは、富士宮のよさの発見をテーマにした写真や15秒の動画^{ぼしゅう}を募集したコンテストです。



その3 「森林限界を超えて」の創作

2022年10月、将棋の藤井聡太さんの^{しやうぎ ふじいそうた}※竜王初防衛戦である第3局が、富士宮市で行われました。市では、おやつコンテストが行なわれ、お菓子^{ぼしゅう}が募集されました。将棋の文化を応援していることもあり、高校会議所も応募しました。地元の和菓子店^{わがし}にお願いして、透明の容器に入った3層^{そう}の和菓子ができました。その名も「森林限界を超えて」というお菓子です。これが上位7つのお菓子の一つに選ばれたのです。



「森林限界を超えて」

ちなみに「森林限界（高木が生える限界の高さ）」という言葉は、藤井聡太さんが、2022年2月、王将になったとき、記者に「(今の實力は)富士山の何合目まで登っているイメージですか？」と聞かれ、「森林限界の手前」とたとえたのをふまえています。

※竜王とは、将棋のタイトルの一つです。

その4 ヒマワリ油作り

放課後児童クラブの子どもたちと外神の畑^{とがみ}で育てたヒマワリを使って油作りをしました。これは、「マスマス元肥^{げんぴ}」を使って、現在使われずに放置されている土地^{ほうち}（耕作放棄地^{こうさくほうきち}）をよみがえらせようとする取り組み^{いつかん}の一環です。お菓子屋さんと一緒に、この油を使った新しいお菓子の開発もしています。

ひみつ3

「マスマス元肥」ってなに？

かわざかな
川魚のニジマスの頭や尾びれなどをつかった肥料のことで。ひりょう
富士宮市は、ニジマスの養殖量が日本一です。その分ニジマスを
加工食品にするときに不要なものも多くなります。これを有効
に使おうと、あさぎりこうげん
朝霧高原で育てられている牛のふん尿を混ぜ合わせ
てつくり、製品化したものが、「マスマス元肥」です。牛がマスをく
わえているイラストがかわいいですね。



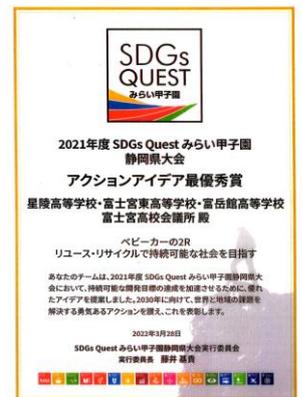
ひみつ4 表彰されました！

ア 気候変動アクションユース・アワード賞（奨励賞）

2021年度気候変動アクション環境大臣表彰で受賞しました。「マスマス元肥」は、日本で初めて川魚をつかったたい肥を考えたということで、持続可能な社会づくりに向けた取り組みという点が評価されたものです。また、富士宮市内の小学生を対象にしたSDGs自由研究講座やSDGsコンテストなども評価されたようです。

イ 「SDGs Questみらい甲子園」アクションアイデア最優秀賞（最高賞） 「高校生ボランティアアワード2023」全国大会 コミュニティー活動賞 優秀賞

高校生たちが、SDGsの実現に向けた社会への行動案を発表する「SDGs Questみらい甲子園」で、静岡県内126チームの中から最高賞をとりました。内容は、ベビーカーを発展途上国で再利用する案です。また、「高校生ボランティアアワード2023」全国大会において、ベビーカーの※リユース・リサイクルプロジェクトが、受賞しました。これは、使用しなくなったベビーカーを引き取り、必要とする人に渡すという活動です。



※リユースは、ものを捨てずにくり返し使うことで、リサイクルは、ものを資源として再利用することです。

ウ グッドデザインしずおか 特別賞

2022年度 SDGsの実践として、「マスマス元肥を使って、富士宮を元気に！！」で応募し、「マスマス元肥」がそのデザインを含めて、富士宮市の地域の課題に取り組んでいることや持続可能な社会づくりの実践をしているということで評価されました。

ひみつ5

どんなグッズがあるの？



缶バッジ



キーホルダー



絵葉書(カバー)

富士宮高校会議所のマスコットキャラクターである「みやわん」(「ブックちゃんのふじのみや探検第41号」に登場しています)を使った^{かん}缶バッジや富士山をデザインしたキーホルダーなどがあります。また、宮フォトコンテストの表彰作品から選ばれた^{えはがき}絵葉書もあります。

ひみつ6

学んでいます



座談会の様子

新しいアイデアを生み出し、それを商品などにするためにも、日々の学びが必要です。会社やお店の方などと座談会をしたり、講師を招いて話を聞いたりして、学習しています。具体的には、次のようなことをしてきました。

- ①世界中の海を取材した海洋ジャーナリストの方を講師にして、環境問題について理解を深めた。
- ②青木にある望月商店主に新しい商品のアイデアやインスタグラムを使った^{せんでん}宣伝のしかたを学んだ。
- ③「富士山下山ツアー」を企画した人から、富士山5合目からの下山ツアーがヒットしたことへの^{ぶんせき}分析や企画立案方法^{きかく}を学んだ。
- ④「岡山県笠岡市地域おこし協力隊」と交流し、イベント企画などの意見交換をした。

ひみつ2でもふれたように、高校生ならではの^{やわ}柔らかく豊かで新しい発想、アイデアをいかしたさまざまな企画が実践されています。こういうことが、富士宮市全体の活気につながっていきます。みなさんの中から、高校生になってこの会議所に参加する人が出てくることを期待しています。

『第44号・富士宮高校会議所のひみつ』は、次の資料^{しりょう}を参考^{さんこう}にして作りました。

- 1 『富士宮高校会議所ホームページ』 2024
- 2 『岳南朝日』 2021.7.21 9.28 12.25 2022.6.21 9.3 12.24 2023.3.12 9.3
- 3 『静岡新聞』 2021.6.27 11..3 12.26 2022.3.29

